

外来医療計画に向けた現状と課題及び取組方針について（北渡島檜山圏域）

1 地域の外来医療の状況

(1) 医療施設数及び従事医師数

	医療施設数 (箇所数)	従事医師数 (人)
一般診療所	16	7
病 院	7	41

(2) 外来診療施設数及び患者数

	外来施設数 (月平均数)	通院外来施設数 (月平均数)	外来患者延数 (回/月)	通院外来患者延数 (回/月)
一般診療所	7	7	5,434	5,365
病 院	7	7	16,284	16,102

(3) 時間外外来施設数及び患者数

	時間外等外来施設数 (月平均数)	時間外等外来患者延数 (回/月)
一般診療所	*	*
病 院	6	367

(4) 往診実施施設数及び在宅患者数

	往診実施施設数 (月平均数)	往診患者延数 (回/月)	在宅患者訪問診療実施 施設数 (月平均数)	在宅患者訪問診療 患者延数 (回/月)
一般診療所	4	32	*	38
病 院	*	*	6	175

(5) 医療機器の配置・保有・活用状況

		CT	MRI	PET	マンモグラ フィ	放射線治療 (体外照射)
医療機器台数	診療所	2	0	0	0	0
	病 院	6	1	0	2	0
調整人口当たり台数		17.6	2.3	0.00	5.5	0.00
人口10万人対台数		22.1	2.8	0.00	5.5	0.00
年間稼働率 (件数/1台)	診療所	168	—	—	—	—
	病 院	1,305	2,331	—	134	—

2 地域で不足する医療機能の現状・課題

北渡島檜山圏域における一般診療所は、平成15年に18施設ありましたが、平成30年には16施設に減少しています。

また、一般診療所に勤務する医師の増減は、ほとんど生じていませんが、年齢構成が比較的高く、医師の高齢化が進んでいます。

○一般診療所数

圏域名	平成15年	平成20年	平成25年	平成30年
北海道	3,361	3,375	3,396	3,392
北渡島檜山	18	17	16	16

※医療施設調査（厚生労働省）

○一般診療所医師数

圏域名	平成22年	平成24年	平成26年	平成28年
北海道	3,314	3,352	3,387	3,447
北渡島檜山	6	7	7	7

※医療施設調査（厚生労働省）

○一般診療所医師年齢構成

年齢	24～34歳	35～49歳	50～64歳	65歳以上	75歳以上 (再掲)	85歳以上 (再掲)
人数	0	0	3	4	1	1

※医師・歯科医師・薬剤師調査（厚生労働省）

(1) 初期救急医療に関する外来医療の現状・課題

(現状)

主に軽度の救急患者に外来診療を行う初期救急医療は日曜、祝日の昼間における在宅当番医制で対応しているほか、救急告示医療機関による24時間受け入れる体制を確保しています。

	町名	参加医療機関名
在宅当番医制	八雲町	八雲総合病院、まきた循環器内科クリニック 魚住金婚湯医院
	せたな町	せたな町国保病院、道南ロイヤル病院
	今金町	今金町国保病院
救急告示 医療機関	八雲町	八雲総合病院（病院群輪番制） 八雲町熊石国民健康保険病院
	長万部町	長万部町立病院
	せたな町	せたな町立国保病院
	今金町	今金町国保病院

(課題)

地域における医師、看護師等の従事者確保の困難性や、救急搬送患者における軽傷者の割合の増加及び夜間休日等に救急外来受診する軽症患者の増加などが加わり、対応する医療機関の負担が増大しています。

そのため、初期・二次医療機関の役割分担と連携体制の強化が求められています。

(2) 在宅医療の提供の状況・課題

(現状)

ア 全国的に実施された高齢者の健康に関する調査^{※1} では、63.2%の人が最期まで在宅等（自宅、特別養護老人ホームなどの福祉施設、高齢者向けのケア付き住宅）での療養を希望している一方で、本道では在宅等における死亡の割合^{※2} は12.7%と全国平均の19.9%を大きく下回っています。

北渡島檜山圏域における在宅等における死亡の割合^{※3} は、7.4%と全道平均を下回っています。

イ 在宅医療サービスの提供状況を見ると、本道では、医療保険等による在宅サービス（往診・訪問診療・看取り）を実施している医療機関^{※4} は、人口10万人当たりでは、病院が6.6施設（全国平均4.2施設）、診療所が18.7施設（全国平均30.3施設）となっており、診療所において大きな差が生じています。

北渡島檜山圏域では、14医療機関（病院・診療所）のうち10施設（病院6、診療所4）が在宅医療サービスを実施しています。

※1 高齢者の健康に関する調査：内閣府「高齢者の健康に関する意識調査」（平成24年）

※2 在宅等における死亡の割合：厚生労働省「人口動態調査」（平成28年）

※3 北渡島檜山圏域における在宅等における死亡の割合：厚生労働省「人口動態調査」（平成28年）

※4 医療保険等による在宅サービス（往診・訪問診療・看取り）を実施している医療機関：厚生労働省「医療施設調査」（平成26年）

【北渡島檜山圏域で在宅医療サービスを実施している医療機関】

	往診(24時間可能)	往診(左記以外)	在宅患者訪問診療 [※]	在宅患者訪問看護・指導	在宅訪問リハビリテーション指導・管理
病院	0	4	6	4	4
診療所	3	1	4	1	0

※ 北海道医療機能情報システム（平成30年7月1日時点）

※ 在宅患者訪問診療：在宅での療養を行っている患者であって、疾病、傷病のために通院による療養が困難な者に対して定期的に訪問して診療を行った場合の評価で、継続的な診療の必要がない方等には算定できない。

(課題)

ア 在宅医療を必要とする患者を地域で支援するには、かかりつけ医機能を強化した医療機関との連携体制が必要です。そのためには、在宅医療サービスを担う医療機関の理解が深まり、更なる連携が地域で推進されるよう、在宅医療を必要とする住民の状況や訪問看護等のサービス提供情報を地域の医療機関や関係機関で共有することが必要です。

イ 北渡島檜山圏域では、在宅医療を提供できる医療機関や訪問看護ステーションの偏在化がみられ、どの地域においても在宅医療を受けられるよう医療機関や訪問看護ステーションの体制を整備することが必要です。

なお、この偏在の要因の一つとして、在宅医療を担う医療スタッフの不足があげられており、マンパワーの確保も当圏域における重要な課題の一つとなっています。

3 地域で不足する医療機能に対する今後の取組の方向性（地域の方針）

（1）初期救急医療の確保に向けて

ア 現状の初期救急医療体制の維持に努めます。

イ 北渡島檜山圏域での救急医療体制の維持充実を図るため、救急医療機関の適切な受診に関する啓発を、関係機関・団体等と連携して積極的に実施します。

（2）在宅医療の確保に向けて

ア 将来的に各町単位での在宅医療の連携構築を目指し、退院支援から日常の療養支援、急変時の対応、看取りまでの医療が継続して行われるよう多職種による連携体制を構築し、在宅医療を希望する患者や家族が安心して暮らすことができる体制の整備を図ります。

イ 地域における多職種の連携体制の構築に向けて、医療、保健、福祉関係機関の情報交換や地域のケア体制検討のための会議等を通じ、関係機関の連携の推進を図ります。

ウ 在宅医療を求める患者や家族のニーズに対応できるよう、在宅医療の中心となる病院や診療所、歯科診療所、薬局、訪問看護ステーション、訪問リハビリテーション事業所等の整備を促進するとともに、サービスエリアの拡大などサービス提供体制の充実に努めます。また、在宅医療を担う人材の確保・育成に努めます。

4 医療機器の共同利用方針

（1）人口減少が進む中で、地域において効率的な医療提供体制を構築するため、医療機器について配置状況、利用状況も勘案の上、可能な限り共同利用を進めることとします。

（2）高額医療機器の購入に当たっては、可能な限りあらかじめ、地域医療構想調整会議において情報共有を図るとともに、機器の共同利用を促進し、地域内での効率的な医療機器の整備、活用に努めます。